

本年度、青少年社会環境浄化事業（青少年ふれあい運動）を実施しました。

実行委員には、小中学校の先生、小中学校 PTA 等、民生委員、保護司、人権擁護委員、青少年相談員、一般補導員等で構成されています。

子供から青年が、より健やかな成長のできる環境づくりを目的とした活動です。地域の店舗にご協力を頂き、小、中、高校生の様子をうかがいました。

【地域のお店のご協力店へアンケートを実施】

本年度もご協力頂いている店舗と新たにご協力をお願いした店舗に、郵送または手渡しにて配布。回答は、ネット回答、郵送返送、実行委員の回収から選んでいただき、子ども達の様子を伺いました。



【アンケート回答】

「ファミリーレストラン等」

- ◇ いつもではないが、学校行事（文化祭、体育祭、テスト等）の後に多数来店。
- ◇ ゲームをしながら長時間滞在。
- ◇ 立ち歩き、席の移動。
- ◇ 他のお客さんに迷惑になるような大きな声で話す。
- ◇ ドリンクバーなどの無断飲食



「コンビニ等」

- ◇ グループで来店。居座って長時間ゲームをする。
- ◇ 学校、保護者、本人と話し合い解決しましたが万引きあり。

「飲食店、コンビニ、アミューズメント施設等」

- ◇ 23 時以降の利用はほぼない ※参照

お店の皆さま、アンケートのご協力、本当にありがとうございました!!



【今後の取り組み】

○お店の利用マナーについて家族や学校で話し合しましょう!!

○子どもだけの利用は、犯罪に巻き込まれる可能性もあるので、保護者含め地域全体で見守ることが大切。

親子間での声かけ、
思いやりのある地域の声かけと見守り



【実行委員で話し合ったこと】

挨拶や声掛けなどコミュニケーションによって、“あなたたち（子ども達）を見守っているよ”という安心感が伝わることは、子どもを健全に育成し、明るく安心安全な街づくりに繋がっていきます。子どもだけでなく見守る大人にも安心感を広げます。

この青少年ふれあい運動は、その核となる運動で、他市では例を見ない他業種のメンバーが集まり、学校と地域の人が一緒に取り組んできた歴史があります。ご協力頂いているお店とのやりとり、子ども達の素の姿を知る大切な場であり、また同時に子ども達を育くんでも頂く場所です。

アンケートそのもの見直しを行うことで、よりリアルに子ども達の様子を知り、どのように関われるか、改善のきっかけとなります。また実行委員もかけもちでこの活動に参加している状態で、継続できるかという局面でもあります。

「子ども達を大切に見守り、育みたい」を実現するべく、大事なこの活動が継続できるよう、考えていきたいです。

※「千葉県青少年健全育成条例」で、保護者は特別な事情がなければ、23 時～4 時までは、青少年を外出させないよう務めることになっています。